

速読について

1. オリエンテーション（入門）－精読と速読の違い

まず、「精読とは何か？」と言えば、「精読とは語句や文型のチェックによる和訳を通じての英文内容把握」のことです。つまり、「観察→分析→判断」という3段階の英文解釈作業ということですが、簡単な英文を使って精読の流れを示せば以下の通りになります。

例1) ① John loves Yoko.

- ② SVO (第3文型) → SはOを～する
- ③ love 「～を愛している, ～が大好きだ」
- ④ 訳 ジョンはヨーコを愛している。

例2) ① I think it foolish to try to answer questions without reading the text.

- ② SVOC (第5文型) → SはOがCだと～する
- ③ O = it (形O), C = foolish (形容詞)
- ④ 真O = to try ... (名詞用法のto不定詞)
- ⑤ try to do 「～しようと努める, ～しようとする」
- ⑥ answer questions 「質問に答える, (文系の) 問題を解く」
- ⑦ without doing 「～しないで, ～せずに」
- ⑧ the text 「本文」 → ×教科書 (= textbook)
- ⑨ 訳 私は、本文を読まないで問題を解こうとすることはばかげていると思います。

次に、「速読とは何か？」と言えば、「速読とは英文の直読直解による主情報の要点把握」ということになります。英文を読みながら同時進行で「主情報と従情報の区別」をする。言い換えれば、「設問に関連した大事な情報が述べられている英文を発見する」読み方です。精読作業(=英文解釈)のような時間をかけた読み方とは違って、速読作業は時間節約の読み方になります。精読例の例文を再利用して、速読の流れを次頁に示しましょう。英文の下にある矢印は直読直解を示しますが、矢印の下に同時進行する頭の中のメモ(=速読訳)例を併記しておきます。

例1) ① John loves Yoko.
 ジョンが 愛しているのは ヨーコ

②〔要点〕 ヨーコであってセーコでもキョーコでもない

★ Johnに強勢があれば、ポールでもジョージでもなくジョンが、となる。

例2) ① I think it foolish to try to answer questions
 思うに ばかりげている 問題を解こうとするのは

without reading the text.

本文を読まずに

②〔要点〕 本文を読まずに問題を解こうとするばかりしさ

さて、上記から「精読と速読の違い」が少し実感できたことと思います。では、以下で具体的に「速読について」述べますので、じっくり読んで速読を実践してください。

2. 速読の定義

一般的に、速読とは「要点を速やかに把握していく連続的な読み」を意味します。音読であろうと黙読であろうと、内容を無視して、単に文字や文章を速く読むことではありません。例えば、速読は早足で歩くことであり、全速力で走ることはありません。

上記の定義を、入試英語長文読解問題に当てはめて言い換えれば、「設問が要求している解答を制限時間内で速やかに出す読み」、つまり、1で述べたように、「英文の直読直解による主情報の要点把握」が中心になります。

その場合、「次の英文を読んで設問に答えよ」などとあっても、まずは設問チェックから入るのが鍵となります。例えば、内容一致問題であれば、選択肢が英文であれ日本語であれ、先にそれをざっと読んで理解しておけば、本文全体の内容がある程度推理できますし、次に各選択肢に一致する英文を本文で探す読みをすれば解答が出しやすくなります。本文内容に対するヒントとして積極的に利用すべきです。

3. 速読法とその注意点

では、「いかに速読すればよいのか」、実践例を通じてそのエッセンスを述べようと思いますが、その前にしっかりと銘記してほしいことがあります。

1 快適な空間 (論説文)

星薬科大 302 語

解答

- (1) 2 (2) 1 (3) 2 (4) 4 (5) 3

速読
ガイド

平易な英文ほど直読直解による要点把握が必要である。冒頭から「話の流れ」に乗って、「中心話題とその展開(例証)」を意識しよう!

---本文の流れ---

- 第1段落** 人と付き合う際、私たちは身体の周囲の空間に対する感情を抱く。対人距離の維持。→ ふだんは対人距離を意識しない。→ 無意識な行動。→ 相手が近づけば、自分は一、二歩下がる。→ 相手がちょっと離れていれば、自分の方が相手に近づく。
- 第2段落** 快適だと思う対人距離は、「快適な空間」と呼ばれる。→ 快適な空間は文化によって異なる。→ カナダ人の対人距離は約60cm。→ それよりも相手が近づくと、カナダ人は後ろへ下がる。
- 第3段落** アラブ人はカナダ人の後ろへ下がる行為を失礼だと考える。→ アラブ人は対人距離がもっと短い方が快適。→ アラブ人とカナダ人の会話情景：アラブ人は相手に近づき、カナダ人は相手から離れる。
- 第4段落** 文化背景が同じ時、「快適な空間」の維持は簡単。→ 無意識に対人空間を調節。→ 文化背景が異なる時、対人空間の調節が必要。→ 標準的な対人空間を維持することで、相手は快適な感じを持つ。→ なれなれしいとか敵対的だとか誤解されることもない。

... 設問解説 ...

アドバイス

設問(選択肢)を先に読んだ上で、設問の該当箇所の英文に集中して解答を出すこと。

- (1) (ア)に入れるのに最も適切なものはどれか。

▷ might consider it rude (ア) the Canadian to move away 「カナダ人が後ろへ下がることは失礼だと考えるかもしれない」の it (形O) が指す